

常任委員会 審査から

六常任委員会に付託された案件の審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載します。

総務委員会

平成17年度岡山市一般会計補正予算（第三号）ほか七件の議案が付託され、一議案を継続審査としたほかは、全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。なお、平成17年度一般会計補正予算（第四号）には附帯決議を付した。

合併・政令市構想事務費 予算執行を凍結

一般会計補正予算中、合併・政令市構想事務費千二百万円について執行部から、既存の政令市と比べ遜色ない都市機能が本市にあるか、市民が政令市に何を期待しているのか等を調査するための基礎調査業務委託料等であり、10月中旬に契約し平成17年度中にまとめたい、との説明があった。

委員から、市長不在時に政策的経費を計上した理由は、との質問があり、執行部から、御津町・灘崎町との合併や、民間の

岡山市政令指定都市推進協議会が設立されるなど、基礎調査を行うべき時期に来ている、との答弁があった。

これに対し委員から、

新市長を交えた議論の後の方が調査がより生きる
次期市長の意向が不明な中で政策論争は困難だ
などの意見があり、新市長の政策方針が明らかになった後、委員会の了承を得てから予算を執行するよう附帯決議を付した。

市税条例の一部改正を 継続審査

執行部から、国の交付金減額により、破綻が懸念される再開発事業の存続のため、市負担分を一定期間加算できる特例措置を設けた。この適用を受けることで地権者等がより低コストで都市生活の利便性、快適性を享受し得るといふ特別な利益に着目し、固定資産税の超過課税による不均一課税が可能と判断した。本町八番地区及び平和町一番地区の再開発事業への適用を想定している、との説明があつた。

た。

委員から、超過課税により試算どおり約十年で回収できるのか、他との不公平感から税率を下げる要望が出るのではないかと懸念や、他の事業との整合性が図れない、特例中の特例を設けるにはまだ議論の余地がある、などの指摘があり、こうした懸念や問題点がある以上、新市長の政策的方向が確認された後に結論を出すべき、との判断から、全会一致で継続審査とした。

保健福祉委員会

平成17年度岡山市一般会計補正予算（第四号）ほか三件の議案が付託され、一議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

介護保険費 特別会計補正予算

執行部から、在宅サービスと施設サービスの負担の公平を図るため介護保険法が改正された。

平成17年10月から施設入所者等の居住費・食費が原則として自己負担となることに伴い、食費等給付費を予算減額するとともに、低所得者に対して一定の軽減措置を図る目的で施設に対し補足的給付を行う、との説明があった。

これに対し一部委員から、利用者の約半分を占める第三段階以上の人は負担増となり、施設経営の圧迫によるサービス低下も懸念されるが、本市独自の救済措置や、デイサービス利用者に対する軽減措置が取られていないとの理由から、反対の意見表明があった。

環境消防水道委員会

岡山市浅越スポーツパーク条例の一部を改正する条例の制定についてほか三件の議案が付託され、全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

市有自動車の事故

市有自動車の事故について、相手方と和解し損害賠償額を定めるための議案に関連して委員から、委員会開催のたびにさま

ざまな交通事故の報告があるが、その原因のほとんどが職員の不注意だ。秋の交通安全市民運動期間中でもあり、職員に対し交通安全について一層周知徹底を図るよう要望があった。



浅越スポーツパーク

経済委員会

岡山市農村集落活性化施設条例の一部を改正する条例の制定についてほか八件の議案が付託され、一議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

三丁目劇場条例の 一部改正

指定管理者制度の運用方針と本劇場への指定手続きについて